

6月の果実の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
すいか類		8,930	120	9,839	221	80	186	2	0.0	大玉すいかは千葉産を中心に熊本、鳥取産が出回る。熊本産は6月中旬で終了見込み。千葉、鳥取産は春先の天候に恵まれ実どまり良く、生育遅延と小玉傾向だった前年より潤沢な入荷見込み。鳥取産は6月中旬から入荷見込み。全体の入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年より大幅に下回るが平年並みの見込み。
メロン類		5,511	95	6,366	393	90	362	21	0.0	茨城産中心の入荷で、全体の約7割を占める。前年は生育遅れだったが、本年産は平年並みの入荷ペースの見込み。茨城産アンデスは作柄順調だが、栽培面積が前年より減少している。山形産は6月下旬から入荷の見込み。全体の入荷量は前年よりやや下回り、価格は前年よりかなり下回る見込み。
おうとう		1,007	120	1,158	1,602	105	1,741	658	65.3	山形産が全体の約7割、米国産が約2割を占める。ハウスおうとうは6月上旬でほぼ終了の見込み。生育遅れのため、露地もの早生品種は6月上旬から、佐藤錦は第3週から入荷の見込み。今シーズンは宅配・産地の観光不振の見方も強く、市場出荷増の見込み。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年をやや上回る見込み。
ぶどう (デラウェア)		487	95	599	1,067	95	987	4	0.0	島根、大阪、山梨中心の入荷となる。主力の島根産は前年よりスタートが遅れて5月上旬からの入荷となった。生育遅れのため6月に入荷のずれ込みがあるが、面積減少のため、入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや下回る見込み。
マンゴー		178	115	157	1,910	90	2,211	-	-	宮崎産中心の入荷で全体の4割を占める。当初の生育遅れは回復傾向にあり、玉伸び、食味の仕上がりも良好。人気商材ではあるが、販売環境が厳しくなっている。結果樹面積の増加により入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。